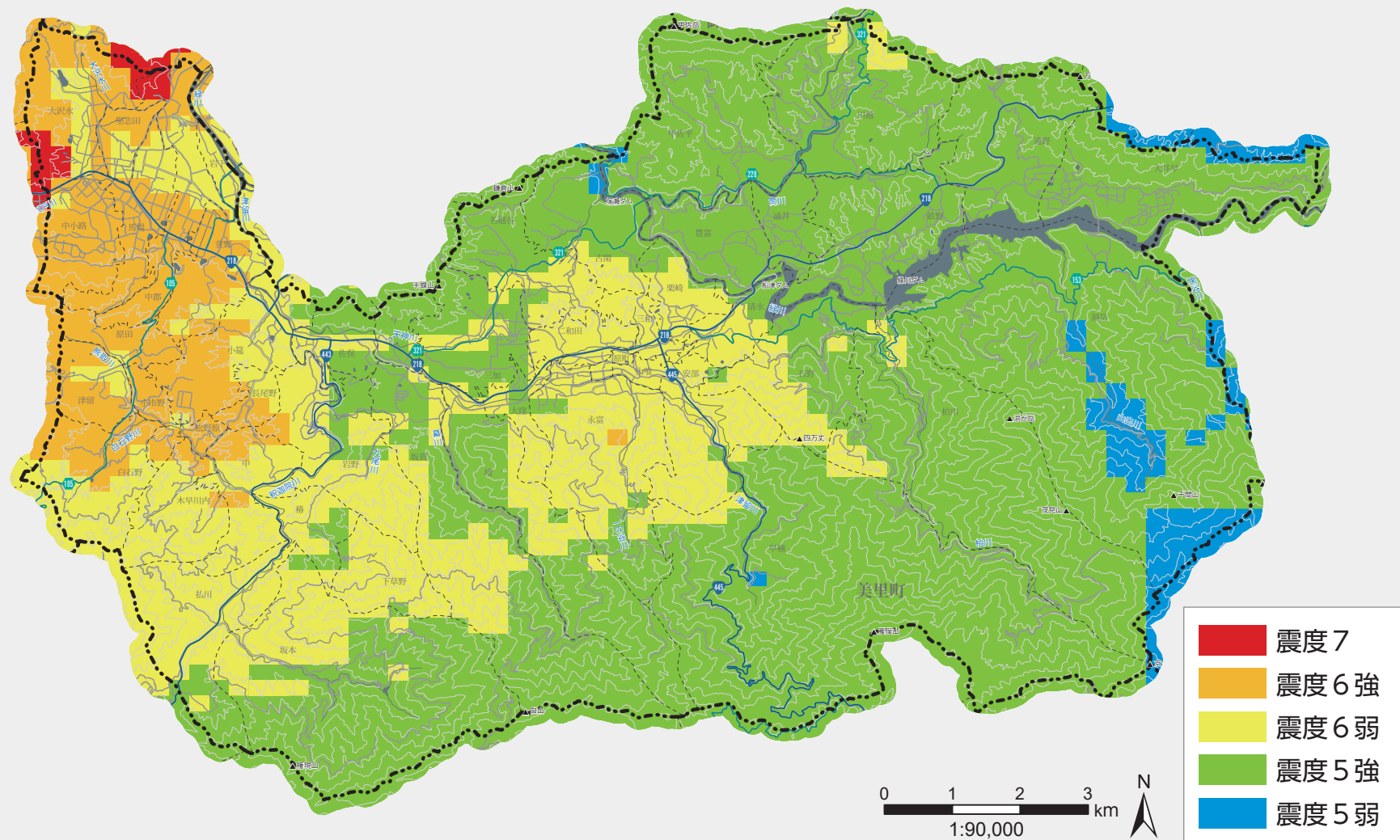


震度分布

布田川・日奈久断層帯
(中部・南西部連動)
ケース1~4の最大震度

この地図は、熊本県が行った「地震被害想定調査」において、美里町への影響が大きいと考えられる、布田川・日奈久断層帯(中部・南西部連動)による地震が発生した場合に想定される地表震度分布図です。

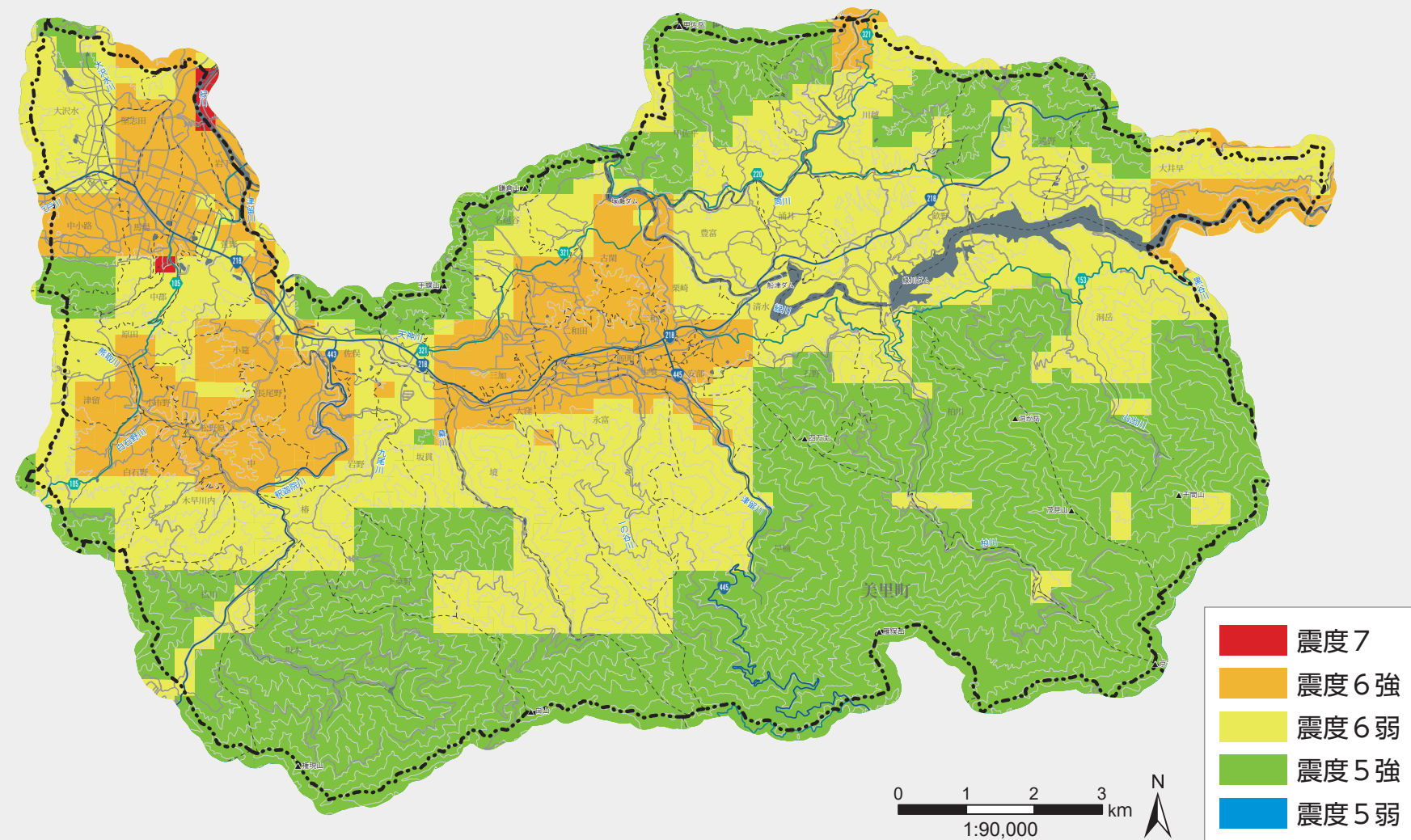


震度分布

緑川断層帯
ケース1~4の最大震度

この地図は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果を基に作成された、地震動予測地図データにおいて、美里町への影響が大きいと考えられる緑川断層帯による地震が発生した場合に想定される最大の地表震度分布図です。

出典：J-SHIS 地震ハザードステーション <https://www.j-shis.bosai.go.jp/>



県内の活断層



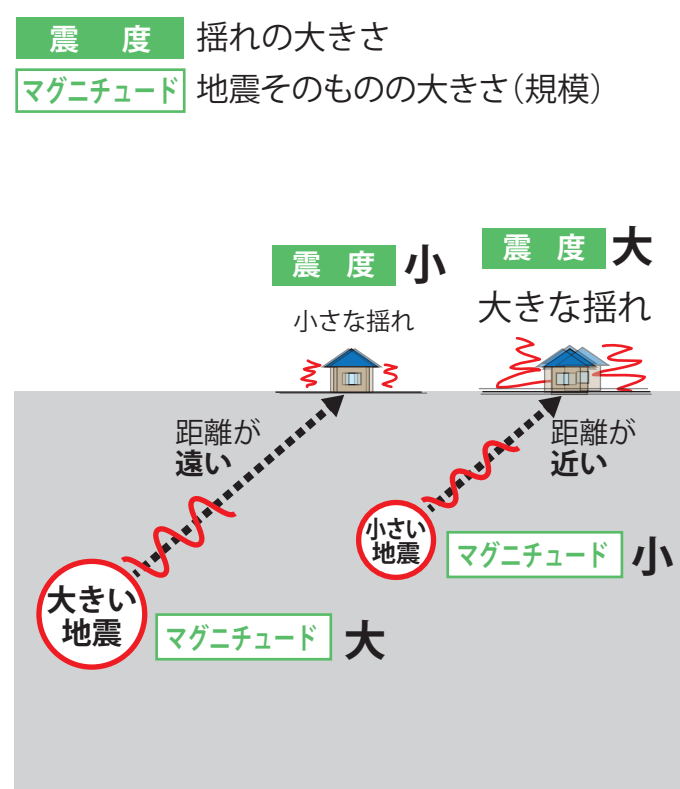
熊本県に被害を及ぼす地震は、主に陸域や沿岸部の浅い場所で発生する地震と、日向灘など東方の海域で発生する地震です。

大地震はどこでも起こりうると考えて備えてください。

震度階級ごとの揺れによる被害

震度 7	・耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが増える。	
震度 6強	・はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 ・大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山林の崩壊が発生することがある。	
震度 6弱	・立っていることが困難になる。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	
震度 5強	・物につかまらなると歩くことが難しい。 ・固定していない家具が倒れることがある。 ・補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
震度 5弱	・大半の人が、恐怖を覚え、ものにつかまりたいと感じる。 ・棚にある食器類や本が落ちることがある。	

震度とマグニチュードの違い



地震の波が地中を伝わり地面が揺れるため、距離が遠ければ、大きな地震でも揺れは小さくなります。

地震が引き起こす被害

地すべりや土砂崩れ

地震の振動によって、地すべりや土砂崩れが起こることがあります。本震の揺れだけでなく、本震後の余震や降雨によって引き起こされることもあります。



平成30年北海道胆振東部地震での土砂崩れ (北海道オープンデータ CC-BY4.0)

ため池の堤防決壊

地震の振動によって、堤防で亀裂や地すべりが発生したり、地盤の液状化現象が起きると、堤防決壊の危険性が高くなります。また、ため池の多くが江戸時代以前に築造されたと考えられています。

液状化現象

地震の振動によって地盤が液状化すると、建物などが傾く、地中のガス管や水道管が壊れる、砂まじりの水が地表に噴出する、などの被害が生じます。



東日本大震災での液状化被害 ((一財) 消防防災科学センター)

ため池ハザードマップ

URL <https://www.town.kumamoto-oto-misato.lg.jp/q/aview/5/5833.html>

